

## 2.2 中期講座

[6日目] 10月26日

|       |   |
|-------|---|
| 日時・時間 | 10月6日(木) 8:30~10:00 ・ 1時間30分  |
| 講義名   | 橋梁の点検方法－愛媛県の道路施設について－   |
| 講師名   | 愛媛県土木部道路都市局道路維持課 越智淳志主幹   |
| 講義形態  | 講義  |
| 実施場所  | 愛媛大学防災情報研究センター 2階研修室  |
| 内容    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 愛媛県の道路予算の推移／道路施設の老朽化について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 愛媛県の道路施設の老朽化の取り組み</li> <li>・ 平成26年7月1日以降の定期点検について</li> </ul> </li> <li>2. 愛媛県橋梁定期点検について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メンテナンスサイクルと「愛媛県橋梁定期点検マニュアル」の構成</li> <li>・ 定期点検 ・ 損傷程度の評価 ・ 主な着目点（鋼橋、コンクリート橋、下部構造、支承、伸縮装置、落橋防止システム等）</li> <li>・ 評価の手引き（鋼部材、コンクリート部材の損傷、その他）</li> <li>・ 健全性の診断 ・ 措置 ・ 記録</li> </ul> </li> <li>3. 道路トンネル定期点検について</li> <li>4. 横断歩道橋定期点検について</li> </ol> |

|       |  |
|-------|--|
| 日時・時間 | 10月6日(木) 10:20~11:50 ・ 1時間30分  |
| 講義名   | 構造物の維持管理－道路橋の維持管理の考え方－   |
| 講師名   | 愛媛大学防災情報研究センター 森伸一郎准教授   |
| 講義形態  | 講義   |
| 実施場所  | 愛媛大学防災情報研究センター 2階研修室   |
| 内容    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会基盤(インフラ)とは <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なぜ、今、インフラ老朽対策か</li> <li>・ 危なそうに見える橋は、実は多い</li> <li>・ 鋼橋及びコンクリート橋の損傷事例</li> </ul> </li> <li>2. 維持管理の構成と流れ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路構造物のライフサイクルのイメージ</li> <li>・ 劣化の科学と技術</li> <li>・ 道路維持管理法令と自治体の課題</li> <li>・ 構造面から見たひびわれ・剥離の影響評価</li> </ul> </li> <li>3. 点検は維持管理の出発点（事例） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 星岡橋(松山市)、静進橋（四国中央市）</li> </ul> </li> </ol> |

|       |   |
|-------|---|
| 日時・時間 | 10月6日(木) 12:40~18:00 ・ 4時間30分   |
| 講義名   | 橋梁の維持管理   |
| 講師名   | 愛媛大学 森伸一郎准教授、全邦釘准教授、芙蓉コンサルタント 須賀幸一  |
| 講義形態  | 現場実習(フィールドワーク)  |
| 実施場所  | 現場 松山市下難波甲 立岩橋<br>取りまとめ・発表 愛媛大学防災情報研究センター 2階会議室   |
| 内容    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現場実習対象橋梁の概要<br/>                     橋梁名 立岩橋 点検区分 III (早期措置段階)<br/>                     建設 1956年 橋長=75.0m、幅員=6.8m</li> <li>2. 現場実習準備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学を 12:30 に出発、バスで移動中も実習内容、注意点の説明</li> <li>・ 現地安全対策の確認 (看板、旗振り等による安全管理)</li> <li>・ 現地安全管理 13:20~15:30</li> </ul> </li> <li>3. 現場実習(静進橋) 13:30~15:30                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習内容、橋梁全体の説明、実習は6班に分かれて調査</li> <li>・ 橋梁全体の概要を把握した後、上部工(4班)、下部工(1班)、路面(1班)で調査。</li> <li>・ 橋梁上部工：主桁(19本)の損傷、健全度、今後の調査と対策</li> <li>・ 橋梁下部工：橋台と橋脚</li> <li>・ 路面観察：舗装(ひび割れ、路面の凹凸等)、高欄等</li> <li>・ 点検方法は、森伸一郎准教授、全邦釘准教授、須賀氏から指導。<br/>                     ME1期生、2期生も参加して測定、観察を行う。<br/>                     近接目視の方法も指導を受ける。</li> <li>・ 損傷具合は、図面記入・写真撮影し、判定区分、変状の種類、判定根拠、考えられる対策について各班で取りまとめる。</li> </ul> </li> <li>4. 現場実習の取りまとめ(防災センター会議室) 16:20~18:00                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各班毎に現場実習成果の整理、取りまとめを行う。</li> <li>・ 現場実習成果と撮影した写真をパソコンに取り込む。</li> <li>・ 各班毎に成果を発表し、同じ箇所を調査した班との比較を行いながら、講師より指導を受ける。</li> <li>・ 最後に、指導講師より注意点、感想等を受ける。</li> </ul> </li> </ol> |